

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	中国財務局長
【提出日】	平成25年4月12日
【四半期会計期間】	第29期第2四半期（自平成24年12月1日至平成25年2月28日）
【会社名】	株式会社アドテック プラズマ テクノロジー
【英訳名】	ADTEC PLASMA TECHNOLOGY CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 藤井 修逸
【本店の所在の場所】	広島県福山市引野町五丁目6番10号
【電話番号】	(084)945-1359
【事務連絡者氏名】	常務取締役総務・経理部長 中山 浩之
【最寄りの連絡場所】	広島県福山市引野町五丁目6番10号
【電話番号】	(084)945-1359
【事務連絡者氏名】	常務取締役総務・経理部長 中山 浩之
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第28期 第2四半期連結 累計期間	第29期 第2四半期連結 累計期間	第28期
会計期間	自平成23年9月1日 至平成24年2月29日	自平成24年9月1日 至平成25年2月28日	自平成23年9月1日 至平成24年8月31日
売上高 (千円)	2,378,905	1,591,316	4,511,639
経常利益又は経常損失 () (千円)	165,691	60,794	82,408
四半期(当期)純利益又は四半期純 損失 () (千円)	71,675	71,202	3,008
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	127,780	1,645	51,416
純資産額 (千円)	2,337,509	2,242,347	2,252,590
総資産額 (千円)	5,121,124	4,586,695	4,358,591
1株当たり四半期(当期)純利益金 額又は1株当たり四半期純損失金額 () (円)	8,349.94	8,294.78	350.49
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	44.1	46.8	49.7
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	688,095	93,772	1,048,149
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	8,393	26,540	58,392
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	289,012	288,583	1,064,436
現金及び現金同等物の四半期末(期 末)残高 (千円)	1,124,175	866,564	645,593

回次	第28期 第2四半期連結 会計期間	第29期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成23年12月1日 至平成24年2月29日	自平成24年12月1日 至平成25年2月28日
1株当たり四半期純利益金額又は1 株当たり四半期純損失金額 () (円)	11,014.69	203.45

注1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

- 第28期第2四半期連結累計期間及び第28期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 第29期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、長期化する欧州債務危機問題や日中関係の悪化、中国をはじめとする新興国の経済成長の減速傾向の影響等により、景気の先行きについては依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような経済環境のもと、当社グループの主たる事業領域である半導体・液晶関連事業（当社等）におきましては、スマートフォンやタブレット端末の需要拡大が続いている反面、パソコンや液晶テレビの需要低迷が長期にわたっていることなどから、新規の設備投資は低調に推移いたしました。

このような事業環境の中、当社等に関しましては、以前から注力してまいりました新規の顧客開拓活動が結果として見え始め、顧客数は増加傾向で推移しております。しかしながら、半導体デバイスメーカー各社において設備投資の延期などにより、売上高は低調に推移いたしました。

研究機関・大学関連事業（IDX）におきましては、医療機関向けのがん治療装置用製品出荷、また、サービス及びメンテナンス売上などにより、売上高は堅調に推移いたしました。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は1,591,316千円（前年同期比33.1%減少）、営業損失は91,169千円（前年同期は営業利益179,705千円）、経常損失は60,794千円（前年同期は経常利益165,691千円）、四半期純損失は71,202千円（前年同期は四半期純利益71,675千円）となりました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、次のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)
	金額(千円)	金額(千円)
売上高	2,378,905	1,591,316
売上総利益	791,984	478,419
営業利益又は営業損失()	179,705	91,169
経常利益又は経常損失()	165,691	60,794
四半期純利益又は四半期純損失()	71,675	71,202

セグメントの業績は、次のとおりであります。

半導体・液晶関連事業（当社等）におきましては、パソコンや液晶テレビの需要低迷が長期化していることに伴い、各関連メーカーで設備投資が抑制されていることから、売上高は974,831千円（前年同期比41.7%減少）、営業損失は133,735千円（前年同期は営業利益77,437千円）となりました。

研究機関・大学関連事業（IDX）におきましては、医療機関向けの売上に加えて、サービス及びメンテナンス売上などがあつたことにより、売上高は616,485千円（前年同期比12.8%減少）、営業利益は41,486千円（前年同期比59.6%減少）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益又は営業損失()
	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
半導体・液晶関連事業(当社等)	1,671,692	77,437	974,831	133,735
研究機関・大学関連事業(I D X)	707,213	102,676	616,485	41,486
合計	2,378,905	180,113	1,591,316	92,249

注1．売上高は、各セグメントの外部顧客に対する売上高を表しております。

2．営業利益又は営業損失()は、各セグメントの営業利益又は営業損失()を表しております。

(注) 文中表記について

(当社等)

当社、Adtec Technology, Inc.、Adtec Europe Limited、Phuc Son Technology Co., Ltd.及びHana Technology Co., Ltd. を表しております。

(I D X)

株式会社 I D X を表しております。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、仕掛品、現金及び預金の増加等により、前連結会計年度末と比較して228,104千円増加し、4,586,695千円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、短期借入金の増加等により、前連結会計年度末と比較して238,347千円増加し、2,344,348千円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少等により、前連結会計年度末と比較して10,243千円減少し、2,242,347千円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて220,971千円増加し、当第2四半期連結会計期間末は866,564千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は93,772千円(前年同期は688,095千円の獲得)となりました。

これは、主にたな卸資産の増加額248,830千円、税金等調整前四半期純損失60,919千円等の資金減少要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は26,540千円(前年同期は8,393千円の使用)となりました。

これは、主に有形固定資産の取得による支出25,600千円等の資金減少要因によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は288,583千円(前年同期は289,012千円の使用)となりました。

これは、主に短期借入金の純増加額403,400千円及び長期借入れによる収入180,000千円等の資金増加要因によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、157,479千円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	28,000
計	28,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年2月28日)	提出日現在発行数(株) (平成25年4月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	8,586	8,586	東京証券取引所 (マザーズ)	当社は、単元株 制度を採用して おりません。
計	8,586	8,586		

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成24年12月1日～ 平成25年2月28日	-	8,586	-	835,598	-	908,160

(6) 【大株主の状況】

平成25年2月28日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
藤井 修逸	広島県福山市	2,969	34.57
アドテック プラズマ テクノ ロジー従業員持株会	広島県福山市引野町五丁目6番10号	326	3.79
藤井 和壽	広島県福山市	252	2.93
藤原 祥二	岡山県井原市	248	2.88
堀田 暢之	広島県福山市	237	2.76
株式会社石井表記	広島県福山市神辺町旭丘5番地	144	1.67
島田 慎太郎	広島県福山市	134	1.56
崎谷 文雄	岡山県井原市	118	1.37
貞弘 司	栃木県佐野市	111	1.29
株式会社山口銀行	山口県下関市竹崎町四丁目2番36号	76	0.88
計	-	4,615	53.75

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年2月28日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 2	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,584	8,584	-
単元未満株式	-	-	-
発行済株式総数	8,586	-	-
総株主の議決権	-	8,584	-

【自己株式等】

平成25年2月28日現在

所有者の氏名又 は名称	所有者の住所	自己名義所有株 式数(株)	他人名義所有株 式数(株)	所有株式数の合 計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
株式会社アドテ ック プラズマ テク ノロジー	広島県福山市引野 町五丁目6番10号	2	-	2	0.02
計	-	2	-	2	0.02

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年12月1日から平成25年2月28日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年9月1日から平成25年2月28日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	805,593	1,026,564
受取手形及び売掛金	923,054	676,990
製品	414,980	464,964
仕掛品	664,785	911,777
原材料及び貯蔵品	726,648	672,003
繰延税金資産	11,510	11,385
その他	57,331	56,669
貸倒引当金	1,179	-
流動資産合計	3,602,724	3,820,355
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,064,235	1,077,604
減価償却累計額	617,069	637,947
建物及び構築物(純額)	447,165	439,656
車両運搬具	19,402	20,270
減価償却累計額	14,195	13,833
車両運搬具(純額)	5,206	6,436
工具、器具及び備品	617,611	641,636
減価償却累計額	492,410	509,312
工具、器具及び備品(純額)	125,200	132,324
土地	65,926	65,926
有形固定資産合計	643,500	644,343
無形固定資産	42,960	40,630
投資その他の資産		
投資有価証券	23,509	30,196
繰延税金資産	1,123	2,581
その他	64,597	68,466
貸倒引当金	19,824	19,877
投資その他の資産合計	69,405	81,366
固定資産合計	755,866	766,340
資産合計	4,358,591	4,586,695

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	144,340	146,813
短期借入金	420,000	823,400
1年内返済予定の長期借入金	512,349	482,449
未払法人税等	20,560	7,933
その他	247,883	196,331
流動負債合計	1,345,133	1,656,927
固定負債		
長期借入金	666,993	591,811
資産除去債務	70,864	71,484
その他	23,009	24,125
固定負債合計	760,867	687,421
負債合計	2,106,000	2,344,348
純資産の部		
株主資本		
資本金	835,598	835,598
資本剰余金	908,160	908,160
利益剰余金	587,562	507,775
自己株式	384	384
株主資本合計	2,330,936	2,251,150
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,609	1,341
為替換算調整勘定	158,233	105,113
その他の包括利益累計額合計	162,842	103,772
少数株主持分	84,497	94,969
純資産合計	2,252,590	2,242,347
負債純資産合計	4,358,591	4,586,695

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)
売上高	2,378,905	1,591,316
売上原価	1,586,920	1,112,896
売上総利益	791,984	478,419
販売費及び一般管理費	612,278	569,589
営業利益又は営業損失()	179,705	91,169
営業外収益		
受取利息	508	542
受取配当金	145	157
為替差益	-	22,223
デリバティブ評価益	154	21
受取手数料	5,291	14,292
補助金収入	1,128	450
貸倒引当金戻入額	3,176	1,126
その他	6,374	6,855
営業外収益合計	16,779	45,669
営業外費用		
支払利息	16,204	11,089
たな卸資産廃棄損	2,790	2,428
為替差損	8,078	-
その他	3,721	1,776
営業外費用合計	30,794	15,294
経常利益又は経常損失()	165,691	60,794
特別利益		
固定資産売却益	-	156
特別利益合計	-	156
特別損失		
固定資産除却損	124	281
投資有価証券評価損	8,218	-
投資有価証券売却損	630	-
特別損失合計	8,973	281
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	156,717	60,919
法人税、住民税及び事業税	42,204	5,603
過年度法人税等戻入額	-	6,106
法人税等調整額	13,925	298
法人税等合計	56,130	204
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	100,587	60,715
少数株主利益	28,911	10,486
四半期純利益又は四半期純損失()	71,675	71,202

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	100,587	60,715
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,698	5,950
為替換算調整勘定	20,495	53,119
その他の包括利益合計	27,193	59,070
四半期包括利益	127,780	1,645
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	98,869	12,131
少数株主に係る四半期包括利益	28,911	10,486

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	156,717	60,919
減価償却費	41,914	40,888
貸倒引当金の増減額(は減少)	3,176	1,126
受取利息及び受取配当金	653	700
支払利息	16,204	11,089
為替差損益(は益)	2,296	20,890
投資有価証券売却損益(は益)	630	-
投資有価証券評価損益(は益)	8,218	-
固定資産除却損	124	281
有形固定資産売却損益(は益)	-	156
売上債権の増減額(は増加)	452,512	254,867
たな卸資産の増減額(は増加)	10,889	248,830
仕入債務の増減額(は減少)	32,445	540
その他	55,695	43,216
小計	704,336	69,252
利息及び配当金の受取額	623	653
利息の支払額	15,741	11,352
法人税等の支払額	16,455	20,559
法人税等の還付額	15,333	6,739
営業活動によるキャッシュ・フロー	688,095	93,772
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(は増加)	10,000	-
有形固定資産の取得による支出	18,097	25,600
有形固定資産の売却による収入	-	758
無形固定資産の取得による支出	375	1,556
投資有価証券の売却による収入	260	-
その他	180	142
投資活動によるキャッシュ・フロー	8,393	26,540
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	260,000	403,400
長期借入れによる収入	300,000	180,000
長期借入金の返済による支出	319,776	285,082
リース債務の返済による支出	620	1,195
配当金の支払額	8,616	8,538
財務活動によるキャッシュ・フロー	289,012	288,583
現金及び現金同等物に係る換算差額	22,409	52,700
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	413,098	220,971
現金及び現金同等物の期首残高	711,077	645,593
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,124,175	866,564

【会計方針の変更】

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年9月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)
役員報酬	65,821千円	64,300千円
給与手当	134,023	146,078
減価償却費	12,273	13,085
試験研究費	206,043	157,479

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に記載されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)
現金及び預金勘定	1,264,175千円	1,026,564千円
預入期間が3か月を超える定期預金	140,000	160,000
現金及び現金同等物	1,124,175	866,564

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年9月1日至平成24年2月29日)

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年11月25日 定時株主総会	普通株式	8,584	1,000	平成23年8月31日	平成23年11月28日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年4月13日 取締役会	普通株式	8,584	1,000	平成24年2月29日	平成24年4月23日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成24年9月1日至平成25年2月28日)

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年11月28日 定時株主総会	普通株式	8,584	1,000	平成24年8月31日	平成24年11月29日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年9月1日至平成24年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	半導体・液晶関連事業	研究機関・大学関連事業	合計	調整額(注1)	四半期連結損益計算書計上額(注2)
売上高					
外部顧客への売上高	1,671,692	707,213	2,378,905	-	2,378,905
セグメント間の内部売上高又は振替高	51,680	150	51,830	51,830	-
計	1,723,372	707,363	2,430,736	51,830	2,378,905
セグメント利益	77,437	102,676	180,113	407	179,705

(注)1. セグメント利益の調整額 407千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年9月1日至平成25年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	半導体・液晶関連事業	研究機関・大学関連事業	合計	調整額(注1)	四半期連結損益計算書計上額(注2)
売上高					
外部顧客への売上高	974,831	616,485	1,591,316	-	1,591,316
セグメント間の内部売上高又は振替高	22,503	8,361	30,864	30,864	-
計	997,334	624,846	1,622,180	30,864	1,591,316
セグメント利益又は損失()	133,735	41,486	92,249	1,079	91,169

(注)1. セグメント利益又は損失()の調整額1,079千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失()と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額()	8,349円94銭	8,294円78銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額() (千円)	71,675	71,202
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額()(千円)	71,675	71,202
普通株式の期中平均株式数(株)	8,584	8,584

(注) 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年4月12日

株式会社アドテック プラズマ テクノロジー
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 西元 浩文 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 家元 清文 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アドテック プラズマ テクノロジーの平成24年9月1日から平成25年8月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年12月1日から平成25年2月28日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年9月1日から平成25年2月28日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アドテック プラズマ テクノロジー及び連結子会社の平成25年2月28日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。